

最近の管内経済概況

(平成30年4月の経済指標を中心として)

～ 持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、改善している。
- 企業倒産は、件数は減少、負債総額は増加している。

全体として、管内経済は、持ち直している。

なお、先行きについては、人手不足や水産物の不漁が管内経済に与える影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。









※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

平成30年6月14日

照会先 : 経済産業省北海道経済産業局
総務企画部企画調査課
T E L : 011-709-2311 内線 2525
E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp
U R L : <http://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(平成30年6月現在)

発表月	平成30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
全国	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している		
生産活動	一進一退の動きとなっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加している	<u>減少に転じている</u>	<u>増加に転じている</u>	<u>減少に転じている</u>	減少している	<u>増加している</u>	
住宅建設	持ち直している	<u>弱含みとなっている</u>	弱含みとなっている	<u>弱まっている</u>	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	<u>減少している</u>	
雇用動向	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
企業倒産	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は減少、負債総額は増加している	

※全国は、内閣府「月例経済報告」の基調判断。

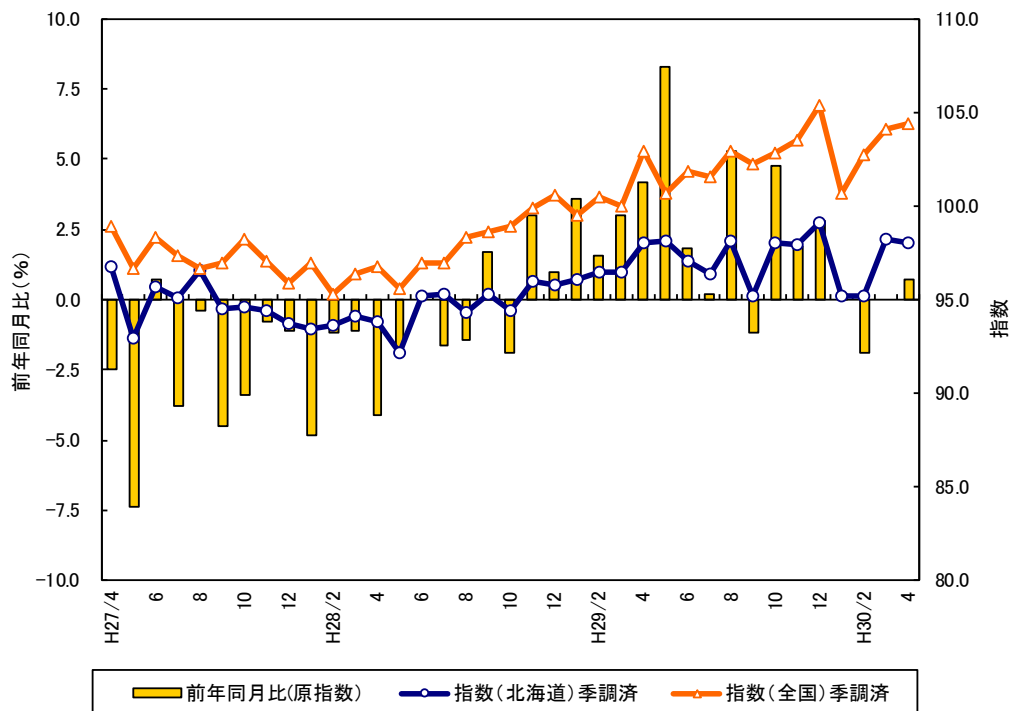
※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正
  据え置き
  下方修正

4月の鉱工業生産は、前月比▲0.2%と2か月ぶりに低下した。
 設備更新工事の終了から建設用鋼材の生産が増加したものの、値上げによる駆込需要の反動からビールの生産が減少した。

<4月>
 季節調整済指数
 北海道(速報) 98.0(前月比▲0.2%)
 全国(速報) 104.4(前月比+0.3%)

鉱工業生産指数(平成22年=100)



(資料:経済産業省、北海道経済産業局)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

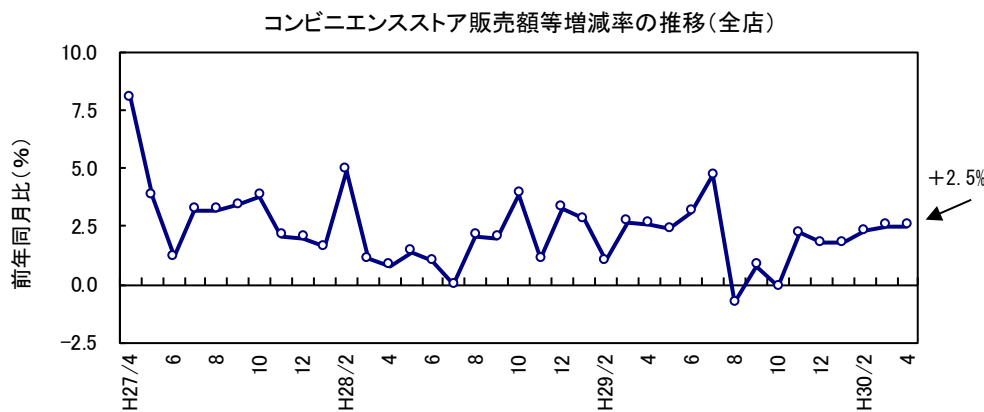
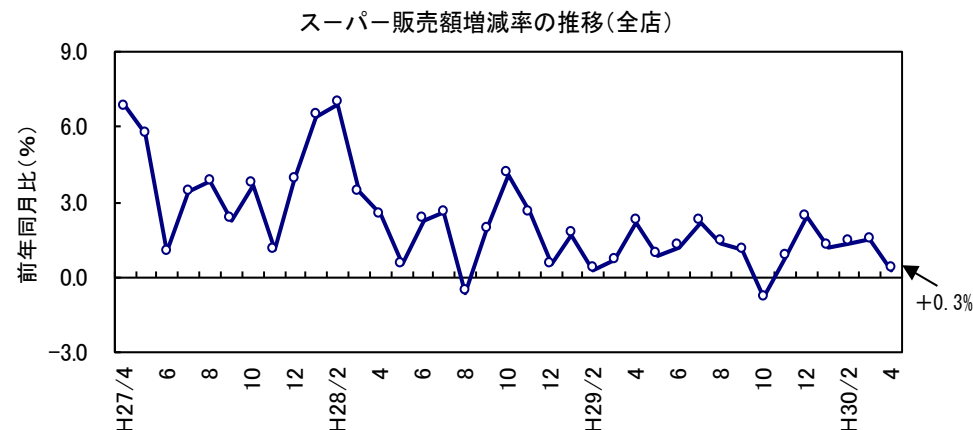
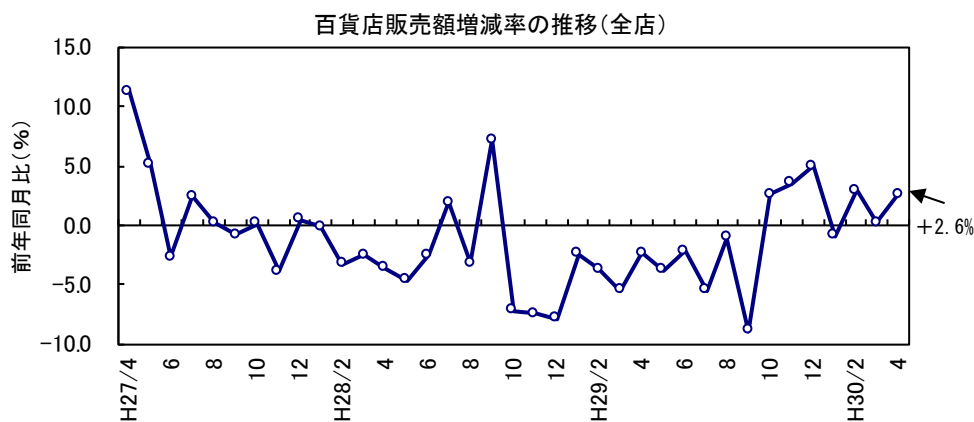
- ・業務用ビールの値上げによる駆込需要の反動から、ビールの生産が減少した。(食料品工業)
- ・定期修理を行ったことから、セメントの生産が減少した。(窯業・土石製品工業)
- ・建設工事の遅れの影響から、建設資材の生産が減少した。(金属製品工業)
- ・大規模な設備更新工事の終了から、建設用鋼材の生産が増加した。(鉄鋼業)
- ・前月在庫調整を行った反動から、石油製品の生産が増加した。(石油・石炭製品工業)

■先行き

- ・定期修理の終了などから、セメントの生産が増加する見込み。(窯業・土石製品工業)
- ・定期修理を行うことから、半導体部品の生産が減少する見込み。(電気機械工業)

4月の個人消費は、飲食料品、化粧品が堅調なことから、持ち直している。

- ・百貨店は、化粧品などの免税売上が好調なことから、前年同月比+2.6%と3か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、肉類などの動きが良かったことから、同+0.3%と6か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、冷たい麺類などの動きが良かったことから、同+2.5%と6か月連続で前年を上回った。



【ヒアリング内容】

■現在の状況

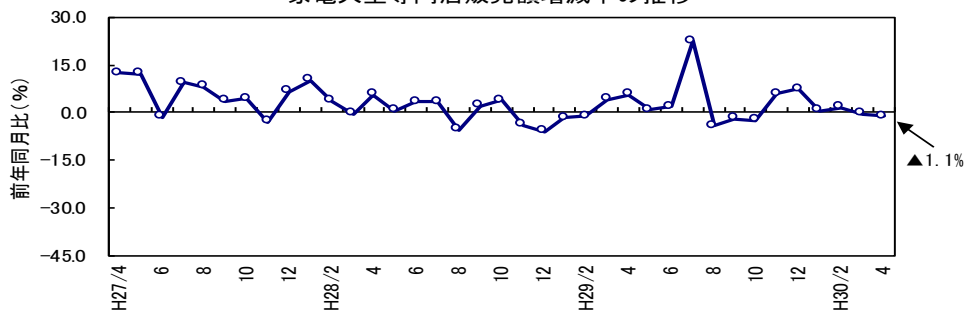
- ・化粧品や高級ブランド品などの免税売上が好調。春物衣料の売上も伸びた。(百貨店)
- ・主力の飲食料品は、野菜に相場安の影響があるものの、肉や果物などの動きが好調だった。(スーパー)
- ・後半は気温が高くなったことから、冷たい麺類などの動きが良かった。(コンビニエンスストア)

■先行き

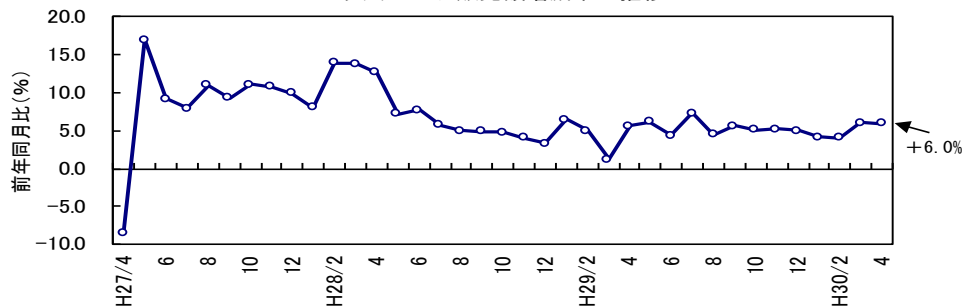
- ・GW後半の悪天候により、観光地などへ向かう幹線道路沿いの店舗の売上に影響が出そうだ。(コンビニエンスストア)

- ・家電販売は、前年同月比▲1.1%と2か月連続で前年を下回った。
- ・ドラッグストアは、同+6.0%と36か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターは、同+4.1%と3か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲6.2%と2か月ぶりに前年を下回った。

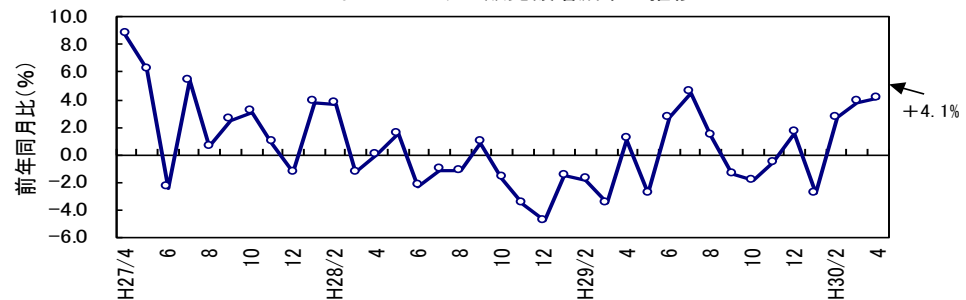
家電大型専門店販売額増減率の推移



ドラッグストア販売額増減率の推移

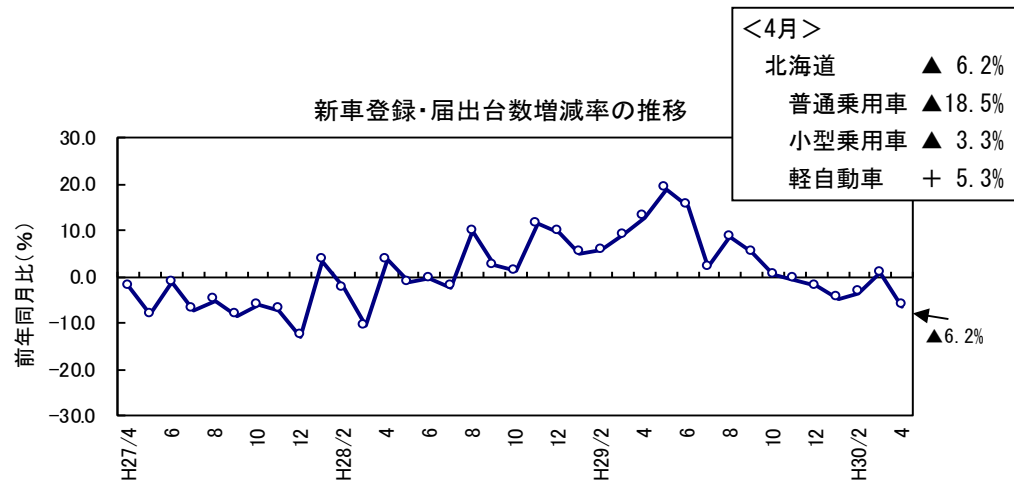


ホームセンター販売額増減率の推移



(資料:北海道経済産業局)

新車登録・届出台数増減率の推移



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・白物家電は、新生活需要の遅れなどにより動きがあったものの、パソコンの売れ行きが不調だった。(家電量販店)
- ・後半に気温が高くなったため、肥料などの園芸用品が早めに動き出した。(ホームセンター)
- ・普通乗用車は、前年の新型車効果の反動により減少している。(関係機関)

■先行き

- ・化粧品については、国内客、外国人観光客ともに、今後も売り上げは好調とみている。(ドラッグストア)

4月の来道客数は、前年同月比+4.7%と3か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+23.0%と23か月連続で前年を上回った。

<4月>

来道客数	99.1万人 (+ 4.7%)
航空機	85.5万人 (+ 5.8%)
JR	6.4万人 (▲ 9.5%)
フェリー	7.2万人 (+ 6.5%)

【ヒアリング内容】

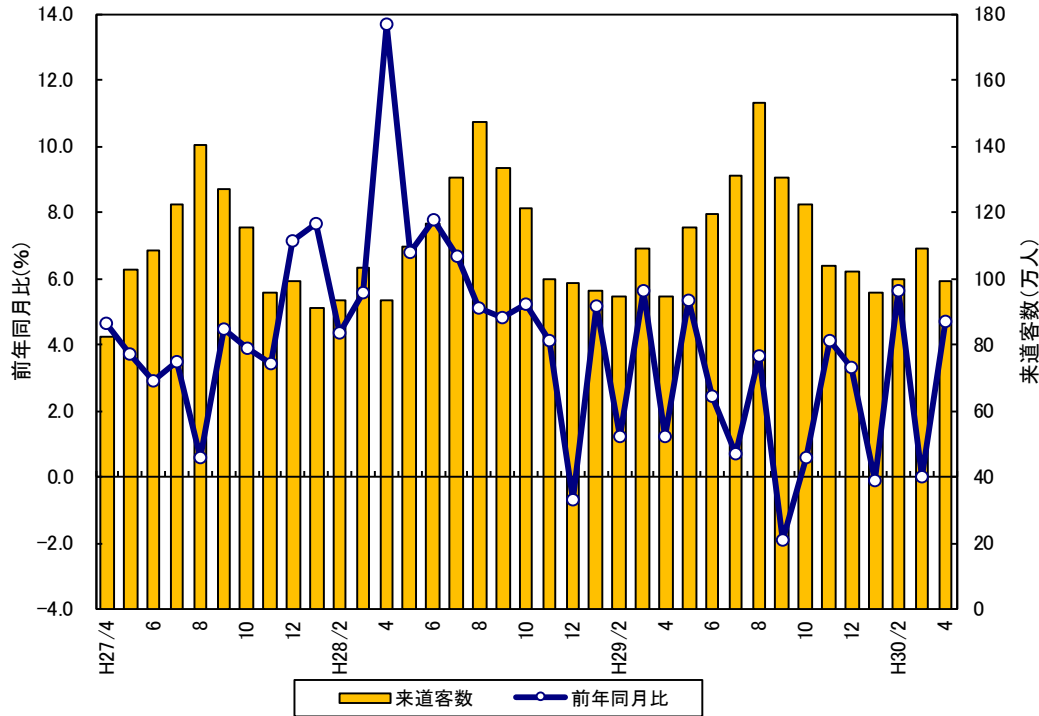
■現在の状況

- 来道客数は、これまで減少していた季節でも落ち込みが少なく、外国人観光客を中心に増加している。(宿泊業)
- フェリーは、ツアー商品などにより、青函航路で利用客数が増えている。(関係機関)

■先行き

- これから北海道の観光シーズンの最盛期を迎えるが、宿泊予約は前年を上回っている。(宿泊業)

来道客数推移

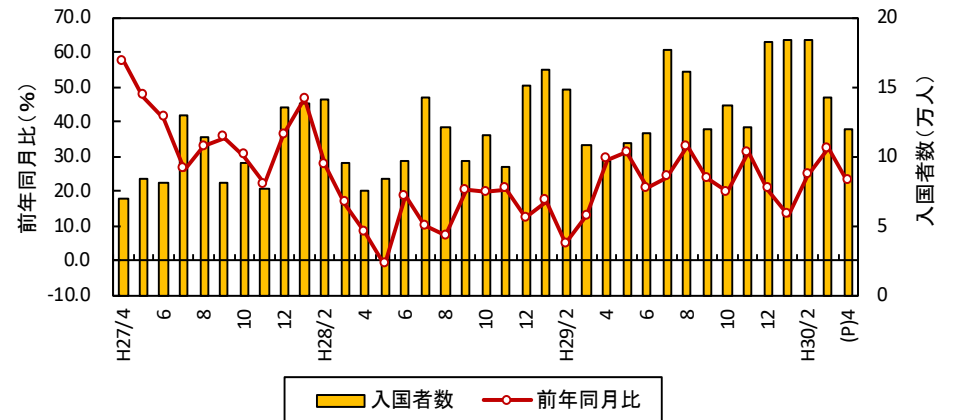


(資料: (公社)北海道観光振興機構)

<4月>

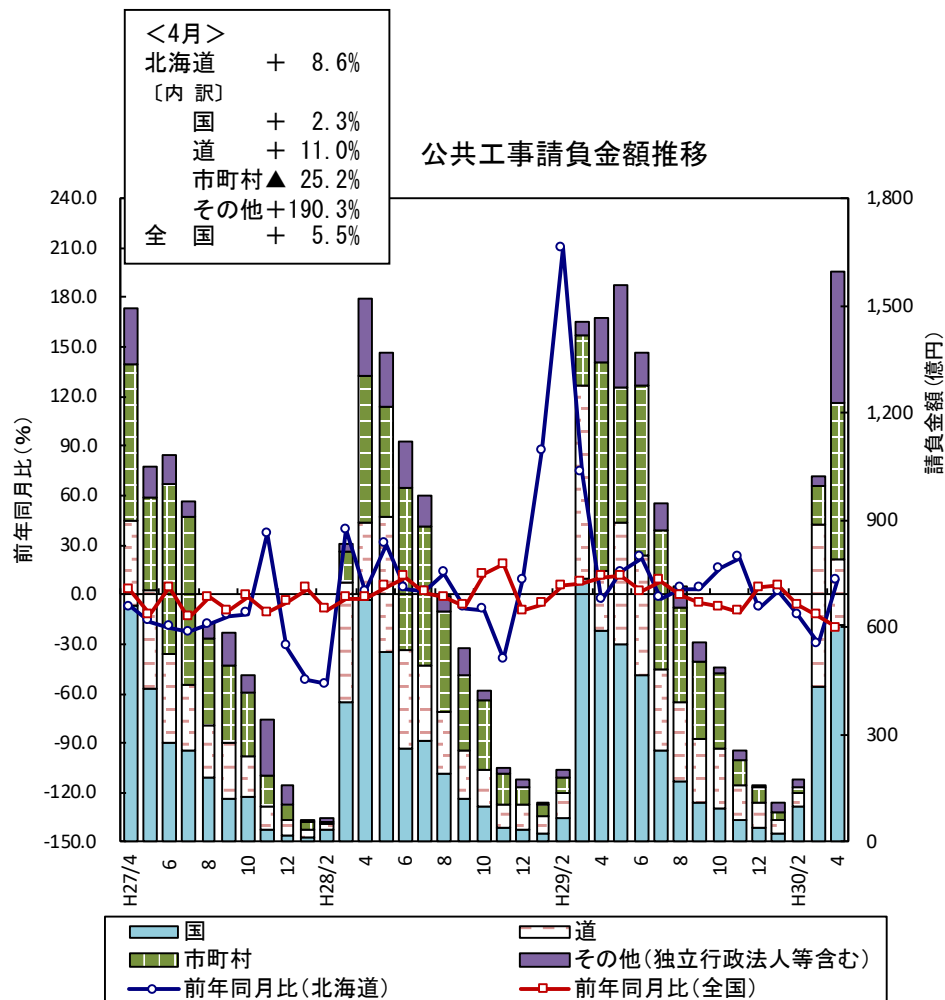
入国者数	11.9万人 (+23.0%)
------	-----------------

道内外国人入国者数



(注) ”p”は速報値 (資料:法務省)

4月の公共工事請負金額は、市町村が前年を下回ったものの、国、道、その他で前年を上回り、全体では前年同月比+8.6%と3か月ぶりに前年を上回った。



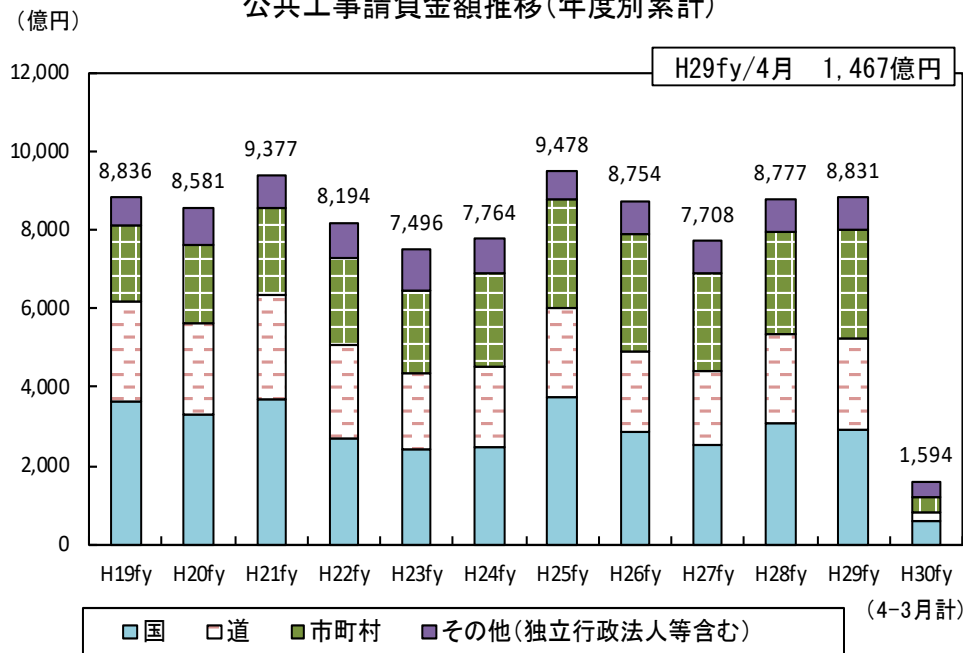
(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

【ヒアリング内容】

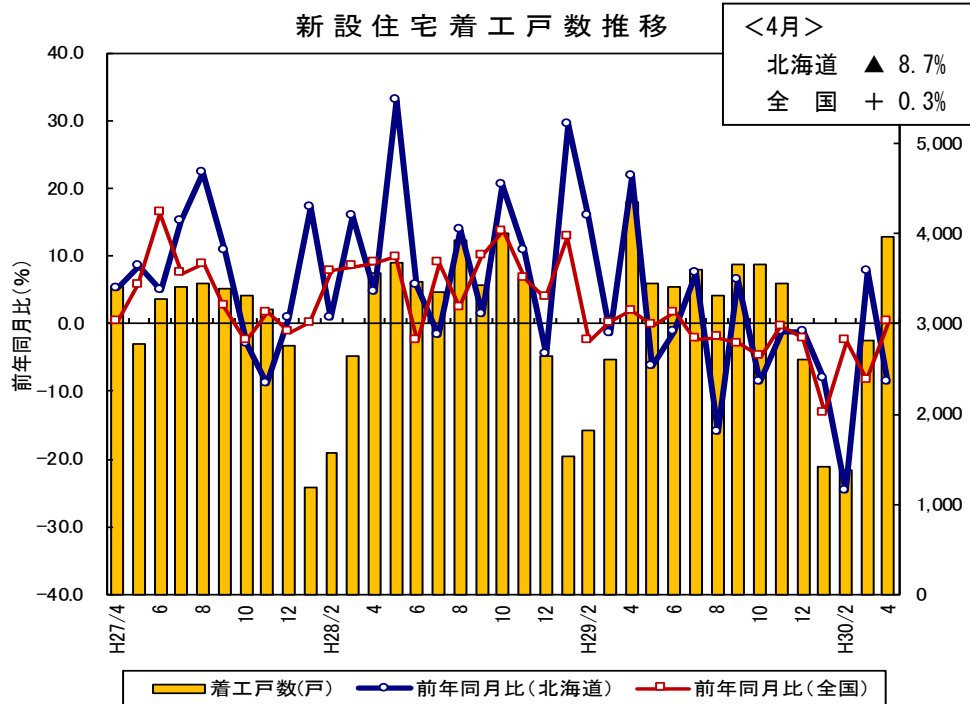
- 現在の状況
 - ・新幹線のトンネルなどの大型工事の発注があったことから、前年を上回った。(関係機関)
- 先行き
 - ・前年までの災害復旧工事が一巡したことから、公共工事は今後、減少傾向となるだろう。(関係機関)

公共工事請負金額推移(年度別累計)



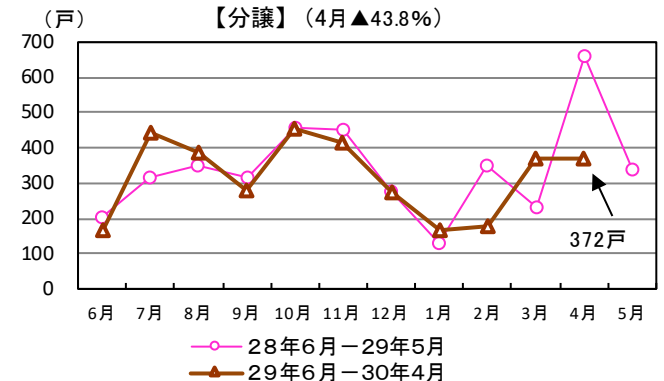
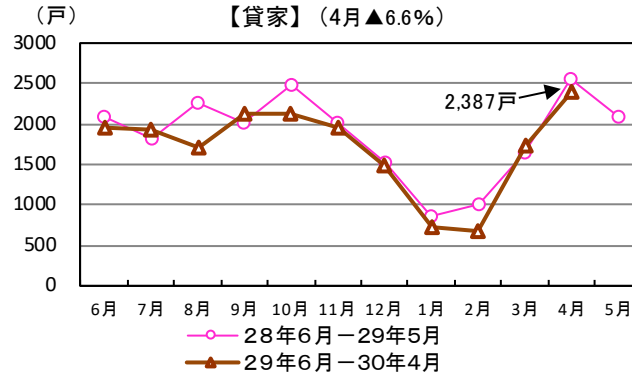
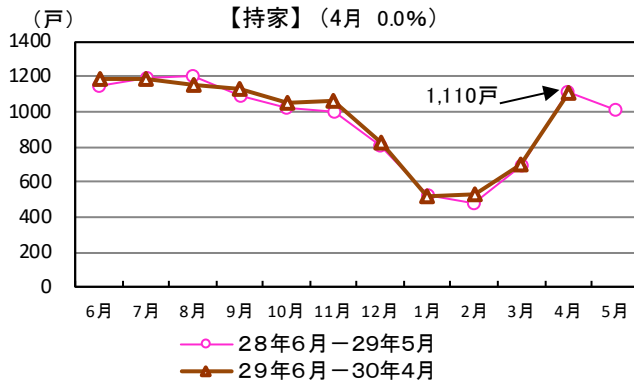
(4-3月計)

4月の新設住宅着工戸数は、持家は前年同月と同数となったが、貸家、分譲が前年を下回り、全体では前年同月比▲8.7%と2か月ぶりに前年を下回った。



【ヒアリング内容】

- 現在の状況
 - ・持家は良い動きが続いており、人気のあるエリアでは分譲戸建ての需要も高まっている。(関係機関)
 - ・貸家は、空室率が高くなっている影響から、新規着工が減少している。(関係機関)
- 先行き
 - ・分譲マンションは、今後は在庫の販売に力を入れていくと思われるため新規着工は減少する見込み。(関係機関)

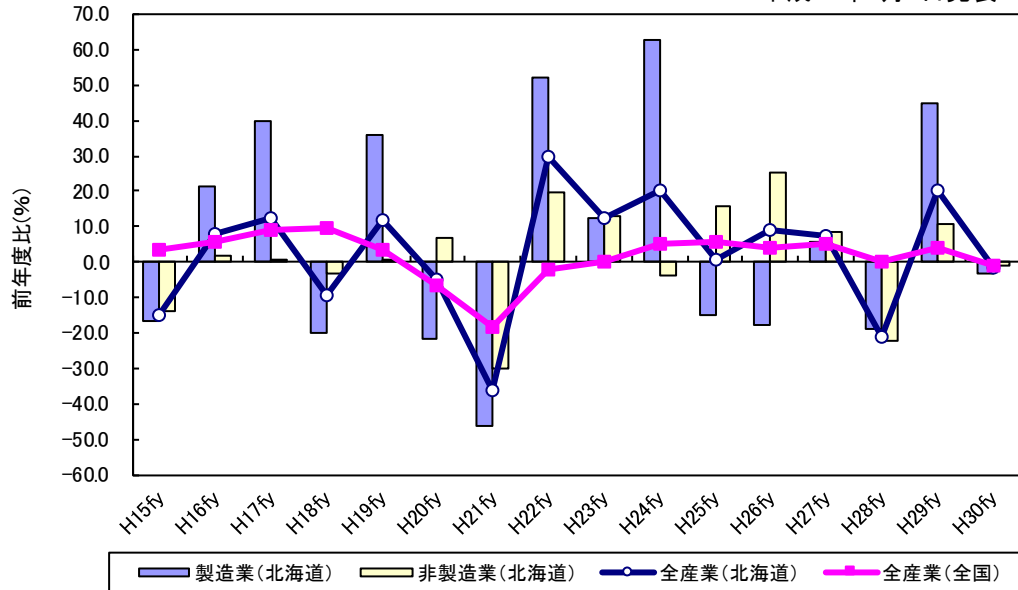


(資料:国土交通省)

30年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲1.5%と2年ぶりに前年度を下回った。

日銀短観の設備投資動向(製造業、非製造業別)

平成30年4月2日発表



【ヒアリング内容】

- 製造業
 - ・生産体制の効率化を図るため、本州工場の製造機能を道内に移設する。(生産用機械器具製造業)
 - ・地場産品を原料とする製品需要に対応するため、新工場を建設する。(食料品製造業)
- 非製造業
 - ・国内外富裕層の宿泊需要に対応するため、道央圏に高級ホテルを新設する。(宿泊業)

法人企業景気予測調査(設備投資)

平成30年3月12日発表

	29年度計画	30年度計画
北海道	+ 20.5%	▲ 1.5%
製造業	+ 44.9%	▲ 3.0%
非製造業	+ 10.7%	▲ 0.7%
全国	+ 4.0%	▲ 0.7%

対前年(同期)比 増減率(%)	29年度 (見込み)	30年度 (計画)	30年度	
			上期	下期
全産業	21.8	2.1	5.6	▲ 0.6
製造業	42.7	▲ 5.3	▲ 12.9	0.9
非製造業	12.3	8.4	22.7	▲ 1.8

注)土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注)ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料:日本銀行札幌支店)

(資料:北海道財務局)

4月の有効求人倍率は、1.07倍と前年同月差0.07ポイント上昇し、99か月連続で前年を上回った。

< 4月 >

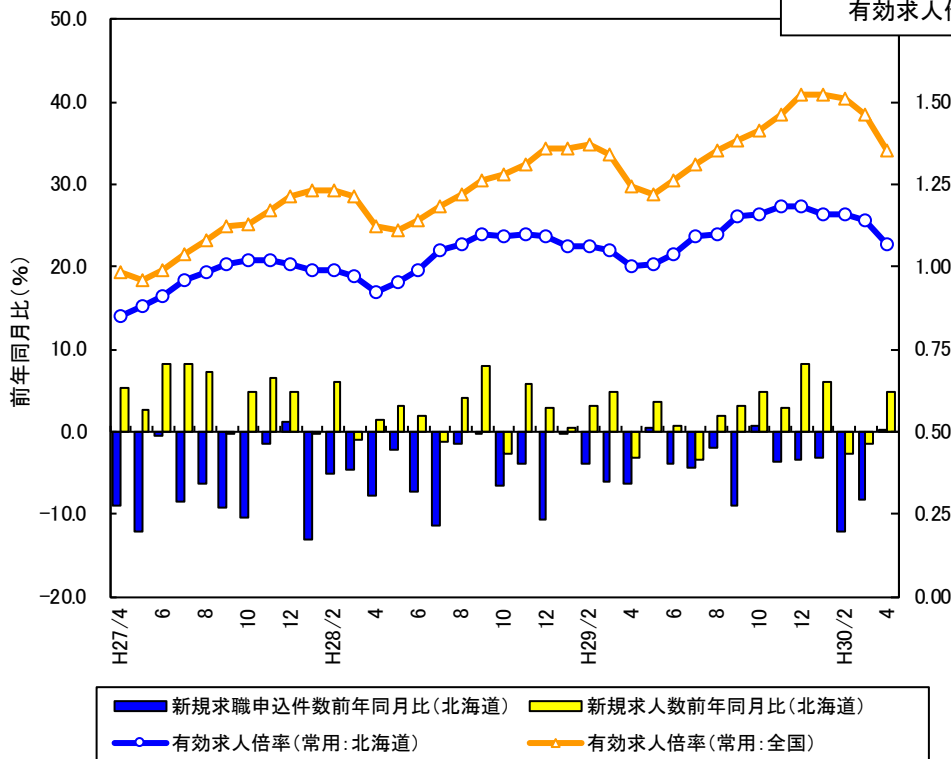
北海道

有効求人倍率(常用) 1.07倍
 新規求職申込件数 + 0.3%
 新規求人数 + 4.8%
 全国
 有効求人倍率(常用) 1.35倍

< 職種別有効求人倍率の例 >

型枠大工、とび工	5.55倍	選別作業員、軽作業員	0.15倍
整備工・修理工	2.73倍	一般事務員	0.29倍
調理人、調理見習	2.69倍	マンション、駐車場等管理人	0.67倍
給仕、接客サービス員	2.45倍	会計・経理事務員	0.74倍
自動車運転手	1.86倍		
販売店員、訪問販売員	1.55倍		

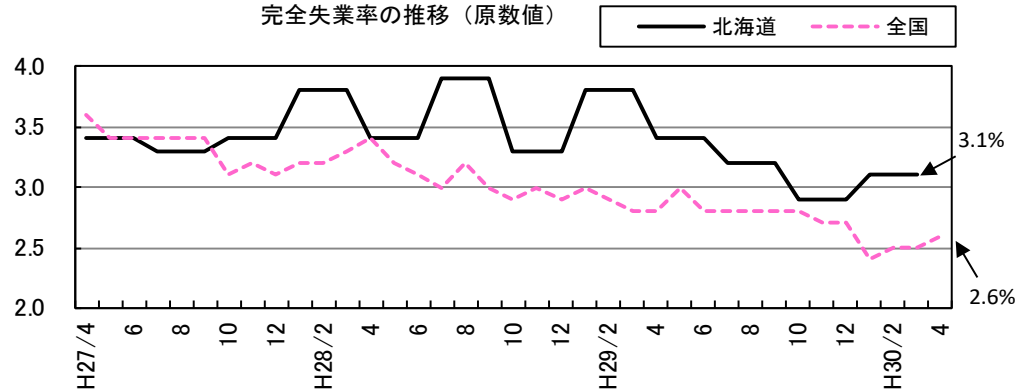
有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



【ヒアリング内容】

- 製造業
 - ・若年層の人手不足などに対応するため、新卒採用のほか、中途採用も積極的に実施している。(鉄鋼業)
- 非製造業
 - ・人材不足解消と生産性向上を図るため、ICT建機やドローンを活用している。(建設業)
 - ・増加する外国人観光客と人手不足に対応するため、外国人の採用を強化している。(宿泊業)

完全失業率の推移(原数値)



(資料:厚生労働省、北海道労働局)

(資料:総務省)

企業倒産 ～ 件数は減少、負債総額は増加している ～

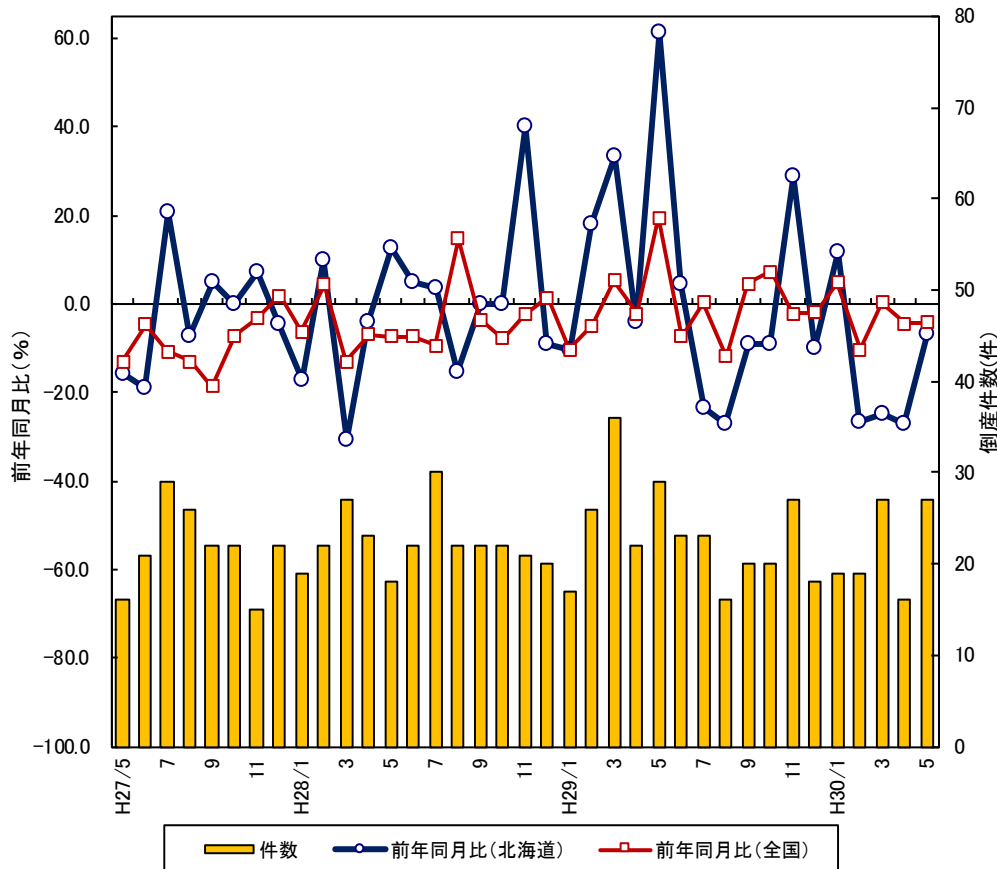
企業倒産

5月の倒産件数は27件で、前年同月比▲6.9%（2件減）と4か月連続で前年を下回った。また、負債総額は24.4億円で、同+14.0%と4か月ぶりに前年を上回った。

企業倒産件数推移

<5月>

北海道 ▲ 6.9%
全国 ▲ 4.3%



(資料: (株)東京商工リサーチ)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

・道東の水産加工会社など、複数の水産関連の倒産が発生した。
(関係機関)

企業倒産負債総額推移

<5月>

北海道 + 14.0%
全国 ▲ 2.3%

